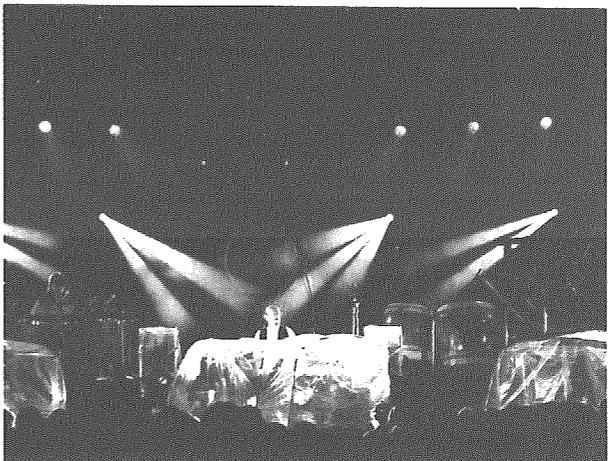


本物を手の届くところで体験してもらいたい
北方文化博物館で喜多郎コンサート

アメリカ合衆国音楽界最高の栄誉とされる第43回グラミー賞を受賞したシンセサイザー奏者の喜多郎氏による「緑の森コンサート2001」が、9月21日夜、北方文化博物館内の野外音楽堂で開催されました。観客たちは、ライトアップされた音楽堂の中で奏でられる音楽の数々に堪能していました。

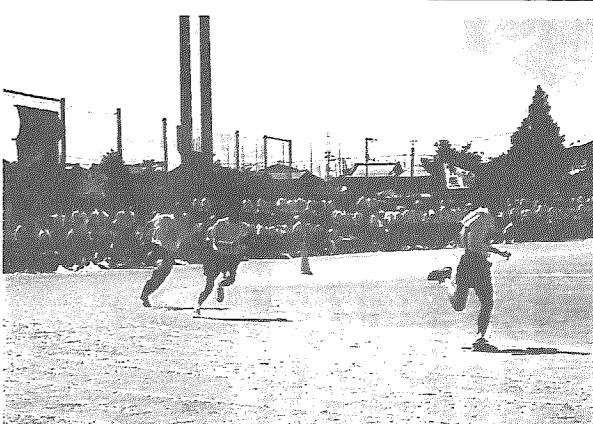
喜多郎氏は同博物館を何度も訪れ、伊藤文吉博物館長と長年交流を続けており、「多くの人たちに本物を手の届くところで体験してもらいたい」との館長の希望と、このほど完成した音楽堂のこけら落としを兼ねて開催されたもので、博物館では、今後も文化、スポーツなどの催しを開催していくたいと話していました。



「力の限り闘志を燃やせ」
中学校体育祭で若いエネルギー爆発！

9月9日、横越中学校で体育祭が開催されました。台風15号が接近していたため天候が不安でしたが、この日ばかりは全校生徒の熱気のせいか、実によく晴れ渡り、汗ばむ陽気となりました。

「力の限り闘志を燃やせ～共に深めよう団結力～」をスローガンに、約470名の生徒たちは、赤、青、黄、緑の4連合に分かれ、仲間や家族などの応援を受けながら、綱引きや大玉送り、大縄跳びや騎馬戦、リレーなどの競技、工夫を凝らした応援合戦などを行ないました。今年は、競技の部、応援の部ともに赤連合が優勝。みんなが最後まで若さあふれる熱戦を繰り広げていました。



夏休み恒例キッズスポーツ教室で
楽しみしながらカヌーを体験

今年で5年目を迎えたキッズスポーツ教室。毎年夏休み恒例のカヌー体験教室が、8月27日、新津市のB&G海洋センター25mプールを利用して行われました。参加した小学1・2年生の児童たち43名は、B&Gの職員の方からだぶだぶのライフジャケットを着せてもらい、熱心に指導を受け、自分の背丈よりも長いパドルに四苦八苦しながらも、1時間半のカヌーの練習を楽しく過ごしました。

民放テレビ局のスタッフが取材に来ており、教室の様子が夕方のニュースで紹介され、インタビューを受けた子どもたちは、この日の体験をほこらしげに語っていました



一面に広がったそばの花を観賞しながら
新品種“こしいぶき”的新米を試食

9月12日、カガヤキ農園と花畠あねさの主催により、川根町の田中久子さんのそば畠で、こしいぶきの試食会が催されました。

参加した30名の多くは、町農村地域生活アドバイザーによる大豆づくりの参加者やそば好きの人など。今年はじめて作った240坪のそば畑で咲く白くて小さな花々を観賞しながら、新潟県が新しく開発した新品種“こしいぶき”の新米を使ったカレーを試食。白くてつやつやした町内産の新米に、あつあつのカレーをかけて食べ、おいしいと評判でした。

10月中旬頃にそばの実を収穫して、そば打ちと試食企画する予定だそうです。



新潟地域の産業界に活力を与えるため、ビジネス提案を行う企業を募集し、全国で取り組まれている最新のビジネス提案を呼び込み、新潟地域の企業に情 報収集・商談のビジネスチャンスを提供することを目的に開催します。入場は無料。

■日時 11月9日(金)・10日(土)
午前10時～午後5時